

平成 26 年 8 月 6 日

需要者 各位

埼玉中央生コン協同組合

JIS A 5308 改正による「納入書」「配合計画書」様式変更のお知らせ

拝啓 時下いよいよご隆昌のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、首題の件、本年 3 月 20 日付けで JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）が改正されました。この改正 JIS A 5308 への移行には 6 ヶ月間の猶予期間が設けられ、弊協組加盟工場におきましては 9 月 1 日付けで移行し、適用開始することといたしました。

つきましては、改正 JIS A 5308 への移行に伴い、本規格で定められている「納入書」及び「配合計画書」の様式も変更となるため、下記に変更点をお知らせ申し上げます。何卒、改正 JIS A 5308 の 9 月からの適用にご理解賜りたくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 様式変更の趣旨

今般の改正では、「回収骨材の取扱」^{注)}が規定され、環境負荷低減に配した規格となっております。このため、「納入書」、「配合計画書」の規定様式に回収骨材の利用を明示できる欄が一行付加された様式となりました。

2. 納入書

「回収骨材置換率」欄が一行設けられ、「細骨材」、「粗骨材」の回収骨材置換率が表示できるようになっております。（納入書の例・写し参照）

3. 配合計画書

「回収骨材の使用法」欄が一行設けられ、A 法（置換率 5%以下）、B 法（置換率 20%以下）の区分を明示できるようになっています。（配合計画書の例・写し参照）

4. 適用開始日

平成 26 年 9 月 1 日（月）納入書は出荷分から、配合計画書は提出分からとなります。

なお、当該欄は、回収骨材を使用する場合のみの記載欄で、使用のない場合は、原則空欄となるだけで、他の記載は従前と変わりありません。

以上

注) 回収骨材とは、戻りコンや工場の残留コン等のフレッシュコンクリートを清水や回収水で洗浄し、もともと工場で管理使用した骨材を取り出し、再利用できるようにしたもので、使用方法として上限を 5%以下とする「A 法」と上限を 20%以下とする「B 法」とがあります。詳しくは、JIS A 5308 レディーミクストコンクリートをご参照ください。

◆納入書の例（埼玉中央生コン協同組合納入書）

改正JIS A 5308 では、「回収骨材置換率」の欄が設けられました。使用のない場合は原則空欄です。

レディーミックスコンクリート納入書



年 月 日

車番	納入台数
	台

④ 生コンに契約外の混和材料を添加したり、加水した場合は「品質」の保証をおこないません。
 ⑤ 生コンは強アルカリ性のため、皮膚や目に触れると炎症を起すことがあります。

納入先	般						
納入場所	般						
納入時刻	時	分	時	分	納入容積	m ³	累計納入容積
呼び方	種類による記号	呼び強度	スランプ又はスランプフロー	呼び強度	呼び強度	呼び強度	呼び強度
配合表	種類による記号	呼び強度	スランプ又はスランプフロー	呼び強度	呼び強度	呼び強度	呼び強度
水セメント比	細骨材	粗骨材	水結合材比	細骨材率	スラッジ固形分率	%	%
回収骨材置換率	細骨材	粗骨材	水結合材比	細骨材率	スラッジ固形分率	%	%
備考	細骨材	粗骨材	水結合材比	細骨材率	スラッジ固形分率	%	%

荷受職員 御認印	出荷係 認印
-------------	-----------

◆ 配合計画書の例 (JIS A 5308-2014)

レディーミクストコンクリート配合計画書										
_____ 殿					No. _____					
					平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日					
					製造会社・工場名 _____					
					配合計画者名 _____					
工事名称										
所在地										
納入予定時期										
本配合の適用期間の										
コンクリートの打込み箇所										
配合の設計条件										
呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランプ又はスランプフロー cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号					
指定事項	セメントの種類	呼び方欄に記載		空気量		%				
	骨材の種類	使用材料欄に記載		軽量コンクリートの単位容積質量		kg/m ³				
	粗骨材の最大寸法	呼び方欄に記載		コンクリートの温度		最高最低 °C				
	アルカリシリカ反応抑制対策の方法			水セメント比の目標値の上限		%				
	骨材のアルカリシリカ反応性による区分	使用材料欄に記載		単位水量の目標値の上限		kg/m ³				
	水の区分	使用材料欄に記載		単位セメント量の目標値の下限又は目標値の上限		kg/m ³				
	混和材料の種類及び使用量	使用材料及び配合表欄に記載		流動化後のスランプ増大量		cm				
	塩化物含有量			kg/m ³ 以下						
	呼び強度を保証する材齢			日						
使用材料										
セメント	生産者名				密度 g/cm ³			Na ₂ O _{eq} %		
混和材	製品名	種類			密度 g/cm ³			Na ₂ O _{eq} %		
骨材	No.	種類	産地又は品名	アルカリシリカ反応性による区分		粒の大きさの範囲	粗粒率又は実積率	密度g/cm ³		微粒分量の範囲 %
				区分	試験方法			絶乾	表乾	
細骨材	①									
	②									
	③									
粗骨材	①									
	②									
	③									
混和剤①	製品名	種類					Na ₂ O _{eq} %			
混和剤②										
細骨材の塩化物量		%		水の区分				目標スラッジ固形分率		%
回収骨材の使用法		細骨材			粗骨材					
配合表 kg/m ³										
セメント	混和材	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	粗骨材③	混和剤①	混和剤②
水セメント比		%		%		%		細骨材率		%
備考 骨材の質量配合割合[],混和剤の使用量につ...に変更する場合があります。										

改正JISA 5308 では「回収骨材の使用法」の欄が設けられました。使用のない場合は原則空欄です。